

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	あさがおきっず八雲		
○保護者評価実施期間	令和6年 4月 1日		～ 令和7年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28人	(回答者数) 24人
○従業者評価実施期間	令和6年 4月 1日		～ 令和7年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 31日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの発達に応じた個別の支援プログラムを提供している。	一人ひとりの発達に応じた細かい作業や手指トレーニングを行っている。また、小学校就学へ向けひらがな等にも慣れ親しめるよう取り組んでいる。	療育内容が固定化されないよう、興味を示し、より楽しみながら取り組める内容の療育内容の情報収集に努め、取り入れていく。
2	体操教室(運動療育)では、専門の講師によるバランス感覚の育成・体幹強化トレーニングを行なっている。	姿勢の安定・体幹の強化、また身体をスムーズに動かせるようなプログラムを取り入れています。筋肉の発達を促進し、身体能力の向上を図っている。	個々の課題に向き合い、柔軟に対応し、「できた」が増え自信・達成感につながるよう取り組んでいく。
3	保護者会や交流会、親子遠足など保護者様同士の情報交換や交流ができる機会を定期的に開催している。また普段の様子を見ていただけるよう、療育参加や見学の機会を設けている。	親子で参加できるプログラム(親子クッキング等)や、困りごとや解決策の情報交換が出来る機会を提供している。また、安心して通っていただけるよう、いつでも参加や見学が出来るようにしている。	困りごと等いつでも時間を置くことなく相談したり、情報がすぐに交換できるよう、交流会の回数を増やす等検討をしている。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別でのペアレントトレーニングは行っているが、事業所全体での保護者が参加できるペアレントトレーニングの提供を実施していけると良い。	事業所全体での具体的な年間計画が、延期になった際に新たな立て直しが不十分だった。	年間計画の立案の際に、保護者様の意見を踏まえ、確実に実施できるよう立案を行う。また延期・中止になった際は、迅速な対応を行う。
2	専門職によるアドバイスを受けての支援はできているが、専門職による直接的な支援が出来るとう良い。	専門職(作業療法士・言語聴覚士・心理的支援)の雇用を求めているが、現段階では確保出来ていない。	必要な人材が確保できるまでの間は、専門職のかたのアドバイスをいただきながら、支援に取り組んでいく。
3	休日(日曜日・祝日)の営業を望む声が多いが、職員の体制が難しく対応できていない。	休日営業を実施できるだけの職員の数が、現時点で確保できていない。	レスパイトを望む声が多いので、常に保護者様の気持ちに寄り添い、安心していただけるよう真摯に向き合い、困りごと等が軽減できるよう努める。